



らいらっく保育園の名称

ほのかに香るリラの花はフランス語の呼び名、英語名ではライラックの花と呼ばれています。枝先に葡萄のような房なりの花をつけて咲く姿のように、子どもたちが集う保育園でありたい！



法人創設

今こそ出発点、生きているを喜ぶ訓練の場である、今この幸せを喜ぶことなく、いつ、どこで幸せになれるか、この喜びをもとに全力で進めよう、わたくし自身の将来は今この瞬間ここにある、今ここで頑張らずにいつ頑張る

京都大仙院、尾 関 宗 園 平成17年10月

尾関宗園師の「平常心」の本で書かれている、この本を読んで「そうだ自分にはなすべき仕事があったのだと気がついたら、すぐにその仕事に戻ってください」と書いています。平成17年10月川崎市保育会の園長研修のときに出会った本でした。冒頭の色紙のことも、そのときから居間に飾っています。今、しみじみとこの言葉が胸に響くのです。人間生命ある限りはやるべきことがある。まして不器用な私は要領よく物事をこなす事が出来ない人である、この道一筋に45年間一生懸命に与えられた役割をこなしました。学生時代のリラの花コサージュをつけて出発した道を再び出発点として、猪突猛進する私を冷静に経営サイドから苦言を呈する夫をパートナーとし、熱意ある人材づくりと専門家集団として乳幼児福祉向上に貢献する発信地として地域の方々から、愛される保育園づくりをめざします。



園長としての一言

らいらっく保育園の誕生は、川崎市保育会の存在なくしては生まれなかった事でしょう。開園の決心を相談したとき本当に心から喜んで応援して頂きました、奥村理事長はじめ園長会の励ましが力になりましたこと、心より感謝申し上げます。未知への冒険の地図となりルートを示して道づくりを手伝って頂きました理事・監事の方々をはじめ関係各位に心よりお礼申し上げます。さらに保育園人材づくりにバックアップしてくれた、新日本学園に心からお礼申し上げます。

育てたように 子は育つ

相田 みつを書

入園した子ども達が、いごこちよい場で過ごせるような保育をめざします。

平成23年3月26日

社会福祉法人 リラ福祉会
理事長 野本 ヨシ子